

安曇野

安曇野市豊科の安曇野赤十字病院は、専門知識を持つ看護師が担当する「アロマセラピー外来」を開設している。アロマセラピーを看護の現場に取り入れる試みは各地にあるが、病院が組織的に「外来」を設けているのは少ない。開設から1年がたち、癒やしを求める患者に好評だ。(高石雅也)

安曇野赤十字病院 アロマセラピー 開設1年



アロマセラピー外来を担当する看護師

病院で治療を受ける外来、入院患者を対象に、毎週水曜日の午後に開設する。医師の許可と患者の希望に基づき、看護師が天然ハーブのアロマオイルでマッサージをする。利用料は1回(30分)1575円で、患者の自己負担となる。

主にながん患者を対象にしていたが、今後は病状を問わず幅広く予約を受け付ける方針だ。担当看護師のリーダー・宮田みゆきさん(46)は「多くの方に癒やしを提供し、次の治療に向かう前向きな気持ちになっていただきたい」と話している。問い合わせは安曇野赤十字病院(☎0263・723170)へ。

癒やし外来 患者に好評

まった。リラックスしてよく眠れたり、冷えていた足が温まったりといった効果に加え、看護師と患者がゆつくりと対話ができる機会にもなっていて、繰り返し利用する人が多いという。末期がん患者と家族が、心穏やかに過ごす手助けにもなっている。